

食品中の放射性物質に関わる行政の調査結果及び関連情報
(10月29日に公表された情報)

1. 行政による放射性物質検査

福島第一原発事故が発生して以降、行政による検査が継続的におこなわれています10月29日に公表された結果によると、465件(福島県49件)の検査がおこなわれていました。基準を超えたものはありませんでした。(厚生労働省のホームページから報告されている放射性物質検査の結果の概略から)。以下特徴についてまとめています。

(1)検査について基準を超えたものについて

ありませんでした。

2. 検査結果について

(1)検査結果の概要

表1. 福島県で採取された沿岸魚の検査結果の傾向(2013年3月26日の検査結果とここ最近の検査結果の比較)

検査結果判明日	検出限界以下となった割合	基準は超えていないが、何らかの数値が検出された割合	基準を超えた割合
2013年3月26日	52.6%	41.4%	5.9%
2019年10月25日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月1日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月15日	100%	0.0%	0.0%
2019年11月22日	100%	0.0%	0.0%
2019年12月6日	100%	0.0%	0.0%
2020年1月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年1月31日	100%	0.0%	0.0%
2020年2月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年2月21日	100%	0.0%	0.0%
2020年2月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年4月13日	100%	0.0%	0.0%
2020年4月27日	100%	0.0%	0.0%
2020年6月12日	99.5%	0.5%	0.0%
2020年7月14日	100%	0.0%	0.0%
2020年9月10日	100%	0.0%	0.0%
2020年10月13日	99.6%	0.4%	0.0%

3. 関連情報

(1)汚染水処理について

東京電力福島第一原発で増え続ける放射性物質トリチウムを含んだ処理水の処分を巡り、来年で保管場所がいっぱいになることから、処理水を海洋に放出する案が出されていますが結論がでていません。政府等の説明によると、トリチウムについては大きな影響はないとのことですが、漁協関係者との間に理解や風評といったことへの懸念があり、このあたりの溝をどう埋めるのかといったところが課題になっています。ただ、時間がないことからあらたな処分案が政府から提出されるのか等を含め、きちんと見ておく必要があります。

以上